

# 平成 30 年度

## 企業戦略を担当される方のための 先端科学技術戦略早朝討論会のご案内

2018 年になり、東京オリンピック・パラリンピックの開催も間近に迫りましたが、国際的な低金利の時代が終わりを迎える中で様々な案件が発生し、世界経済の落ち込みに対する警戒も話題になる昨今です。

ビジネス展開の環境は予測が困難です。未踏科学技術協会では、時代をリードするキーパーソンの動きを知ることが予測には効果的と考え、これまでも先端科学技術戦略早朝討論会を開催して、直接キーパーソンから社会変革への意気込みを聴いてまいりました。

平成 30 年度は、実質的に最後の平成の会計年度となりますが、昨年と異なり、日中関係が好転していると思われ、一部不穏な可能性は残るものの、アジアの時代の大きなうねりは本格化の一途と思われます。一方で、米国の国際的な政治指導力は混迷期に入っている印象さえあり、民主主義の危機も叫ばれて、今後の予測は益々困難になっています。

当協会では、これまでも折々の状況判断の下、科学技術の進展を足場として社会変化の方向性を探るために、国家プロジェクトによる技術開発や大学での人材育成のキーパーソンを中心に、注目度の高い方々からお話をお聴きし討論する会の開催を進めてまいりました。平成 30 年度もこの流れに沿って、年間 10 人のキーパーソンを招聘致しました。添付の通りご案内を申し上げます。討論の注目点も付記致しております。社会変化の速度は益々大きくなっております。ご参加頂き討論の中から変化の芽を見出して頂ければ幸いです。話題内容に応じて異なる方々の御出席も歓迎です。

当協会は、40 年余にわたり、先端科学技術の普及増進をお手伝いしてまいりました。今後も皆様のお役に立ちたいと願っております。是非、本企画の目指すところをご勘案の上、ご参加頂きますようご案内申し上げます。

一般社団法人未踏科学技術協会  
理事長 木村茂行  
<http://www.sntt.or.jp/>

# 先端科学技術戦略早朝討論会 実施概要

本討論会では、10人の国プロ研究開発の責任者や監督者あるいは大学運営の実質的な責任者による話題提供をもとに、質疑応答・討論と名刺交換を行います。ご参加の皆様には、スケジュールに沿って、ご朝食をお取りいただきつつ各回1名のキーパーソンのお話をお聴き頂き、討論を加えて頂きます。5月より翌年2月まで月に1回のペースにて合計10回開催致します。

本年度の話題提供を頂く講演者及び話題の注目点は次ページに掲載しました。どうぞご期待下さい。

会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段北4-2-25）

<アクセス> JR中央線（緩行）、地下鉄有楽町線・南北線・新宿線各市ヶ谷駅より徒歩2分。

当日のスケジュール：

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| 8:00      | 開場（名刺交換）            |
| 8:10～8:30 | 主催者挨拶と<br>論点説明、及び朝食 |
| 8:30～9:00 | 話題提供                |
| 9:00～9:45 | 質疑応答と討論             |
| 9:45      | 解散                  |



参加費：39万円（税込421,200円）、レピーター割引36万円（税込388,800円）  
（当協会賛助会員割引価格32万円（税込345,600円））

各社1名様、計10回の御出席、同じ組織に属する代理者の出席可能。

会場集合・会場解散で、交通費及び前日宿泊費等は参加者ご負担となります。

※今回新規に賛助会員（年会費5万円：消費税対象外）としてご入会頂ければ、上記の賛助会員割引価格が適用になります。レピーター割引との重複はご容赦ください。レピーターとは、過去に半年単位の早朝討論会に1回以上参加された方（企業）です。協賛団体会員はレピーターと同額です。

資料：話題提供に使われるパワーポイント（一部を除く）を印刷し当日配布。

早朝討論会全回終了後、講演と質疑の概要を参加者に送付。

参加者募集申込〆切：2018年5月15日（火）（定員に達し次第締め切り）

**定員：12名様**

お問合せ・申し込み先：一般社団法人未踏科学技術協会（事務局担当：金子）  
〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-10 新橋アマビル6階  
電話 03-3503-4681 ファクス 03-3597-0535  
E-mail: md2018@sntt.or.jp

# 「先端科学技術戦略早朝討論会」 開催スケジュール・話題提供者および各討論会の注目点

開催場所 アルカディア市ヶ谷 開催時間 8:10～9:45（日程は講師都合で変更があり得ます）

## 第1回 平成30年5月23日（水）

演題「放射線とその産業応用」

東京大学 農学生命科学研究所 特任教授 中西 友子 氏

注目点：放射線の利用無くしては、現代の産業、農業・食品工業も、また医学も存在が困難です。

## 第2回 平成30年6月27日（水）

演題「科学技術立国の復活に向けて」

物質・材料研究機構 理事長 橋本 和仁 氏

注目点：今日の科学技術立国政策は、今後の日本をどこへ向かわせようとするのでしょうか。

## 第3回 平成30年7月25日（水）

演題「大学教授が起業する」

大阪大学名誉教授 応用物理学会前会長 河田 聡 氏

注目点：大学教授が起業をすると、何がどのように変わるのか、その狙いについて聴きます。

## 第4回 平成30年8月22日（水）

演題「サイバー世界のリアル化とリアル世界のサイバー化」

東京大学名誉教授 舘 暲 氏

注目点：現実の世界とサイバーの世界が重なり始めています。これにより私たちの働き方、生き方、社会の在り方がどのように変わってゆくのでしょうか。

## 第5回 平成30年9月26日（水）

演題「我が国の大学教育の未来」

東京農工大学 学長 大野 弘幸 氏

注目点：国立大学が大きく変わろうとしています。特徴を生かす国立大学の方向性を聴きます。

## 第6回 平成30年10月24日（水）

演題「文理両道の人材育成」（仮題）

国際基督教大学 学長 日比谷 潤子 氏

注目点：科学技術にリベラルアーツが必要なら、逆もまた真なり。幅の広い人材とは？ どのように育てるのでしょうか。

## 第7回 平成30年11月8日（木）

演題「広い排他的経済水域と海洋開発の科学技術」

海洋研究開発機構 理事長 平 朝彦 氏

注目点：海洋開発は地球観測や資源確保の他に、地政学も重要因子です。世界とのバランスがかかっています。

## 第8回 平成30年12月12日（水）

演題「超分子の世界は機能性物質の宝庫」（仮題）

東京大学教授 理化学研究所創発物性研究センター・グループディレクター 相田 卓三 氏

注目点：我が国で「天才」という言葉が最もふさわしい研究者。専門家でも想像もできない分子を次々に開発。

## 第9回 平成31年1月23日（水）

演題「バイオサイエンスにおけるマイクロ熱流体力学」（仮題）

理化学研究所 理事 松本 洋一郎 氏（4月1日より東京理科大学 学長）

注目点：地球は水の惑星、そこに住む命と環境。根源は流体の挙動でしょうか、流体力学は深淵です。

## 第10回 平成31年2月27日（水）

「IT・輸送システム融合型エレクトロニクスで次世代を拓く」

東北大学 国際集積エレクトロニクス研究開発センター長 遠藤 哲郎 氏

注目点：急速に進む少子高齢化の中で社会を持続的に発展させる超省エネ・超省力技術の粋とは？

E-mail: md2018@sntt.or.jp

下記申込書に所定の事項を書き込み、メール添付で5月15日(火)までにお申し込みください。

「先端科学技術戦略早朝討論会」

平成30年度

参加申込書

平成 年 月 日

会社名・団体名 :

【参加者様】

御芳名(ふりがな) :

御所属部署・役職名 :

【事務連絡ご担当者様】

御芳名(ふりがな) :

御所属部署・役職名 :

ご住所:

お電話 :

E-mail :

お申込み後、1週間以内に受領通知がない場合には、お手数でもお問い合わせ下さい。

<連絡事項>